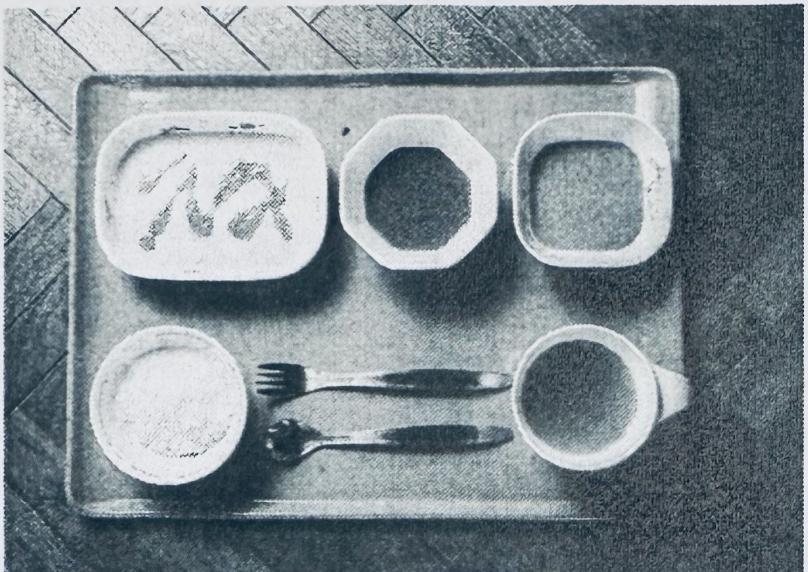


メリー
ルート
グスト

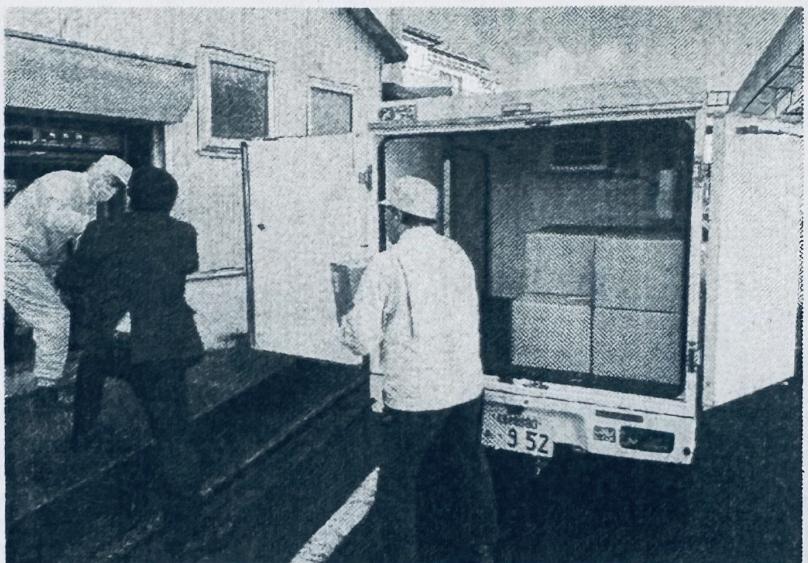
介護食5千食を無償提供

能登半島地震被災の高齢者に

【尾張】調味料・介護食
 メーカーのグルメストーリー（本社清須市阿原池之表）（本社清須市阿原池之表
 80、鈴木信輝社長、電話052・409・2061）は、能登半島地震で被災した咀嚼（そしゃく）・嚥下（えんげ）が困難な高齢者への支援として、介護食約5千食を無償提供する。



海南病院が監修した「G Sミキサー食」



被災地への発送の様子

提供する介護食は、JA愛知厚生連海南病院（弥富市）の監修で開発した「G Sミキサー食」。同病院の管理栄養士が栄養バランスやカロリーを計算し、和・洋・中43品目による14日間の献立を開発。ミキサーにかけた料理を、通常の食事がとれない高齢者でも食事

担当者は「被災地では食事形態に制限がある高齢者の栄養摂取が行き届いていないと知り、支援を決めた。食事の時間だけでも笑顔が生まれ、元気に難局を乗り越えていただければ」と話

を楽しめる商品として展開している。

支援提供品は25日から発送を始めており、30日までに石川県栄養士会に納品。被災地の介護福祉施設から避難所などへ一時避難した高齢者に配布される。